

令和4年度
第54回琉球放送旗争奪沖縄県中学校新人バレーボール大会
新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

【大会実施にあたっての基本的な考え方】

- (1) 感染源を絶つ
- (2) 感染予防の3つの基本(身体的距離の確保・マスクの着用・手洗い等の徹底)
- (3) 3つの「密」(密閉空間、密集場所、密接場所)の回避
- (4) 安全な活動環境等の確保

大会実施時の感染予防対策について

- (1) 感染源を絶つ
 - ① 風邪の症状(発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等)がある選手やチーム関係者等を、大会に参加させないことを徹底する。
 - ② 大会に参加する全ての方へ大会前2週間分の体調を記録した「体調記録表」(別紙1)の記録を求め、健康管理を徹底する。※チームに感染対策責任者をおき、これを管理保管する。
 - ③ 大会当日受付時に、学校同行者体調記録表(別紙2)を提出させ、選手やチーム関係者への体調を確認するとともに、大会中、選手やチーム関係者等に体調不良がある場合は、大会本部(専門部)に申し出ること。
 - ④ 学校同行者体調記録表(別紙2)に記載された者以外(大会役員、審判員、管理職など)の来場者に対し、来場者体調記録表(別紙3)に必要事項を記載し提出をさせるとともに、来場後の2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会本部に速やかに報告することを徹底する。
 - ⑤ 大会会場内への出入りは、大会参加者と関係者のみとし、入場制限を行う。ただし、選手を管理する保護者及びチーム関係者の各チーム12名(大会3日目は保護者及びチーム関係者各チーム20名)と登録外部員は、校内および館内で参観ができる。学校同行者体調記録表(別紙2)に記入する。選手・スタッフ以外に館内に入れるのは、試合をしているチームの登録外部員及び保護者及びチーム関係者12名のみ(大会3日目は保護者及びチーム関係者各20名)である。
 - ⑥ ゴミの持ち帰りを徹底し、回収する際はマスクを着用し、回収後は手洗いを十分に施すなど対策を講じる。
 - ⑦ 大会で使用する用具や、会場で多くの人に触れる場所(ドアノブ、トイレ等)は、定期的に消毒を行う。
 - ⑧ 感染対策責任者は、集合時～解散時まで選手の健康観察を徹底する。
 - ⑨ 大会本部(専門部)及び感染対策責任者は、大会中に選手等の体調不良を確認した場合、医療機関および保護者等と連携し、安全に帰宅させるなどの対策を講じる。
 - ⑩ 大会への送迎はできる限り、保護者へ依頼する。
※感染対策責任者は、チーム内の監督・コーチの中から選任するものとする。
- (2) 感染防止の3つの基本
 - ① 監督会議等を実施する場合、人と人との間隔が、できるだけ2メートル(最低1メートル)空くよう、

広くするなどの工夫をする。

- ② 感染対策責任者は、集合時、待機中、休憩中及び食事中などにおいて、選手同士・競技役員との間隔ができるだけ2メートル空くように指導する。
- ③ 大会本部（専門部）及び感染対策責任者は、対戦相手や審判等との握手、仲間と手をつないだり肩を組んだりして行う円陣、ハイタッチなどの実施を制限する。
- ④ 選手、チーム関係者等及び大会関係者にマスクを準備させ、大会中は、競技等実施時及び食事中を除いて、基本的にマスクを着用し、咳エチケットを徹底させる。ただし、試合中、公式練習、アップの際や気候の状況等により、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外すよう選手に指導する。**※選手控え場所、生徒役委員の時は、マスクを着用する。**
- ⑤ 感染対策責任者は、マスク着用による熱中症などのリスクを回避するために、会場の気温や湿度に注意しながら、選手の健康観察を行うとともに、こまめに給水をさせる。その際、給水用のコップ等を共有させない。
- ⑥ 選手、チーム関係者等及び大会関係者がこまめに手洗いを行えるよう、手洗い場には十分な量の石けん等を配置するとともに、場内アナウンスや掲示物等で選手や引率者等に手洗いを促す。
- ⑦ 事前に参加者に手洗い後に手を拭くための個人用タオル等を持参するように周知徹底する。

（3） 3つの「密」（密閉空間・密集場所・密接場面）の回避

- ① 大会会場への入場は、登録された選手、チーム関係者等及び大会関係者を原則とし、その他については、関係機関と連携し、利用する会場や施設の状況を見ながら判断する。
- ② 感染対策責任者は、移動の際、密閉空間にならないよう、定期的に換気をし、乗車人数を減らす、保護者への送迎を依頼するなどの工夫をする。
- ③ 会場内に人が密集しないように 一度に会場に入れる人数や学校数等を制限するなどの工夫をする。
- ④ コートのベンチは各コート5脚とし、アップゾーンを広く設置するなど工夫をする。
- ⑤ 更衣室で選手が密集しないよう、一度に利用できる人数を制限し明示する。また、更衣室の換気扇を常時運転し、換気用の小窓を開ける等、換気に 配慮する。
- ⑥ 常時、会場の入り口や窓を開放するか、1時間に2～3回程度、会場のドアや窓を開け換気を行うなどの工夫をする。
- ⑦ 大会本部及びチーム関係者等は、控え場所や食事をする場所について、できるだけ2メートル空くよう、選手同士の間隔をとらせ、対面をさげ、会話は控えるよう指導する。

（4） 安全な活動環境等の確保

- ① 大会に関わる関係者（大会役員、審判、指導者）は、来場者体調記録表（別紙3）に記録する。
- ② 大会本部（専門部）は、参加校に対して大会の趣旨、感染拡大予防ガイドラインを周知徹底する。参加チームは、大会に参加する選手及びチーム関係者に対し、参加にあたっての注意事項等を事前に説明し、選手に参加同意書（別紙5）を提出させる。
- ③ 選手の体調不良や救急搬送等の事態が発生し、保護者の同意や意向聴衆等が求められることも想定し、感染対策責任者や学校等と保護者が確実に、速やかに連絡が取れる体制を構築しておく。
- ④ 大会本部（専門部）は、大会会場施設と感染拡大予防対策について、事前に施設と打合せを行う。
- ⑤ 宿泊を伴う参加については、個室を基本とするが、大部屋対応の場合は、ソーシャルディスタンスが確保できる人数で宿泊できるように、宿泊施設との調整を事前に行う。また、宿泊施設の感染拡大

予防に対する指示に従うこと。

- ⑥ 大会終了後2週間以内に息苦しさ(呼吸困難)・強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い風邪症状がある場合は、速やかに学校長へ連絡するとともに、大会本部(専門部)へ連絡する。

※今後の感染状況によりガイドラインに変更があった場合は、HP等でお知らせいたします。

対象者	提出書類	提出先・記録者	保管する人
選手	体調記録表(別紙1)	感染対策責任者	感染対策責任者
	大会参加同意書(別紙4)	感染対策責任者	感染対策責任者
	チーム同行者大会当日体調記録表(別紙2)へ記録	感染対策責任者が記録し、本部へ	会場責任者
選手管理者 (保護者)	体調記録表(別紙1)	感染対策責任者	感染対策責任者
	チーム同行者大会当日体調記録表(別紙2)へ記録	感染対策責任者が記録し、本部へ	会場責任者
監督 コーチ	体調記録表(別紙1)	感染対策責任者	感染対策責任者
	来場者体調記録表(別紙3)	本部	本部
感染対策責任者	チーム同行者大会当日体調記録表(別紙2)	本部	会場責任者
大会役員	来場者体調記録表(別紙3)	本部	会場責任者

※「チーム同行者大会当日体調記録表」は、当日の朝、選手・選手管理者(保護者)全員の体温を測定し記入する。体温計はチームで準備すること。

※「チーム同行者大会当日体調記録表」に、記載できなかった者は、来場者体調記録表を本部に提出する。

※会場内、校内では、所属や身分(監督・コーチ・マネージャー・選手・生徒管理者等)がわかるカードを常時身につけること。